

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和5年度、実績値：令和6年3月末

ステップ1：認定率の比較（年間）

（％）

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		0.0%	16.6%	-16.6%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.5%	-3.5%	
	後期高齢者	0.0%	25.7%	-25.7%	

ステップ2：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	4,740	5,378	113%		
	訪問入浴介護	人/年	420	408	97%		
	訪問看護	人/年	5,076	4,943	97%		
	訪問リハビリテーション	人/年	1,224	1,045	85%		
	居宅療養管理指導	人/年	5,172	11,066	214%	乖離あり	医療系サービスの利用増加
	通所介護	人/年	6,396	8,233	129%	乖離あり	事業所の増加
	通所リハビリテーション	人/年	5,652	2,776	49%	乖離あり	コロナ禍での利用控えの影響
	短期入所生活介護	人/年	1,776	1,367	77%	乖離あり	コロナ禍での利用控えの影響
	短期入所療養介護（老健）	人/年	156	145	93%		
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	0			
	福祉用具貸与	人/年	13,572	14,337	106%		
	特定施設入居者生活介護	人/年	1,332	1,505	113%		

地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	120	37	31%	乖離あり	施設未整備
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	12	0	0%	乖離あり	利用者の減少
	小規模多機能居宅介護	人/年	384	206	54%	乖離あり	施設未整備
	認知症対応型共同生活介護	人/年	756	570	75%	乖離あり	施設未整備
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	12	0	0%	乖離あり	利用者の減少
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	348	350	101%		
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	0	0			
	地域密着型通所介護	人/年	1,344	670	50%	乖離あり	事業所の減少
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	3,168	2,789	88%		
	介護老人保健施設	人/年	3,876	2,915	75%	乖離あり	利用者平均介護度の重度化
	介護医療院	人/年	0	51			
	介護療養型医療施設	人/年	36	36	100%		
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	18,252	19,412	106%		

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	87,424	94,162	-6,738	一人当たりの利用回数の増加
	訪問入浴介護	68,031	62,745	5,286	
	訪問看護	47,352	46,565	787	
	訪問リハビリテーション	40,975	33,368	7,607	
	居宅療養管理指導	13,724	7,141	6,583	
	通所介護	84,512	76,180	8,332	
	通所リハビリテーション	64,986	60,717	4,269	
	短期入所生活介護	72,867	75,872	-3,005	長期利用者がいないか適正化システムで確認
	短期入所療養介護（老健）	100,481	94,594	5,887	
	短期入所療養介護（病院）				
	福祉用具貸与	11,249	12,257	-1,007	
	特定施設入居者生活介護	212,628	179,827	32,800	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	248,742	99,961	148,781	
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護	49,083			
	小規模多機能居宅介護	212,484	203,514	8,970	
	認知症対応型共同生活介護	256,894	257,556	-662	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	210,000			
	地域密着型介護老人福祉施設	258,319	300,106	-41,787	利用者の介護度の変化を確認する
	看護小規模多機能型居宅介護				
	地域密着型通所介護	95,905	107,157	-11,252	一人当たりの利用回数の増加
施設サービス	介護老人福祉施設	254,475	265,599	-11,124	利用者平均介護度の重度化
	介護老人保健施設	277,927	297,826	-19,899	利用者平均介護度の重度化
	介護医療院		353,226		
	介護療養型医療施設	400,583	363,587	36,997	
介護予防支援・居宅介護支援		12,844	13,398	-554	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

本市は施設サービスが多くあり、要介護1、2の人は老人保健施設、その後に介護老人福祉施設という流れがある。介護老人福祉施設、介護老人保健施設に加え、認知症対応型共同生活介護においても利用者の高齢化に伴い、平均介護度が重度化している。在宅介護という選択ができるよう、サービス提供体制を構築していく必要がある。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

		(%)			
サービス名		計画値 (8期中)	整備数 (R6.3末)	達成率 (整備数/ 計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
地域密着型 サービス	定期巡回・随時対応型 (施設数)	1	0	0%	公募したが募集なし
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		
	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		
	小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	0	0%	公募したが募集なし
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	27	9	33%	令和5年4月より1ユニット(定数9人)整備。 残り2ユニットは、既存施設の稼働率を考慮し、未整備とした。
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0		
	地域密着型通所介護 (施設数)	0	0		

・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。
公募を行い、問い合わせはあるものの採算が取れない等の理由から実際には応募してこないケースが多い。
また、認知症対応型共同生活介護については、現存施設に空きがある状態が続いていることもあり、今後の整備については検討しなおす必要がある。